熊本県人権情報誌

コッコロ通信

vol.63
2026.11

熊本県人権啓発キャラクター
「コッコロ」



P.1　みんなで行こう！“人権フェスティバル”
11月10日～12月10日は、「熊本県人権月間」です

P.2　「そういうもんだ」はもう終わり。楽しく自分スタイルで輝ける熊本へ
－第６次熊本県男女共同参画計画－

P.3　災害時こそ大切にしたい「人権」

P.4　人権センター新着DVD
くまもとハートウィークイベント
みんなで応援！コッコロマッチ
熊本県人権啓発Ｗｅｂ講座

みつめる、みとめる
－みんな違う個性、みんな願う幸せ－

みんなで行こう！“人権フェスティバル”

11月10日～12月10日は、「熊本県人権月間」です

熊本県では、11月10日から12月10日までを「熊本県人権月間」と定め、人権に関するさまざまな啓発活動を行っています。

その一環として、県民の皆さまに人権を身近に感じていただくため、「人権フェスティバル」を開催します。



バービーさん

日時　2026年12月6日（日）12:00～17:30（開演13:30～）

場所　熊本城ホール2階シビックホール
（熊本市中央区桜町3－40）

主催　熊本県・熊本県人権啓発推進協議会・
熊本県人権啓発活動ネットワーク協議会

入場無料

〈ステージイベント〉**要申込**　定員300名
バービーさんトークショー、高橋大洋さん講演会
県立聾学校手話落語部ステージ など

〈ブースイベント〉**申込不要**
点字体験、モルック体験、人権月間ロゴのボディペイント、
災害と人権関連展示、物販 など

※申込締切11月15日（日）。定員に達していない場合は、引き続き受け付けます。

熊本県人権
フェスティバルHP
はこちら

この情報誌には音声コードが印刷されています。
Uni-Voice

「そういうもんだ」はもう終わり。楽しく自分スタイルで輝ける熊本へ

－第６次熊本県男女共同参画計画キャッチフレーズ－

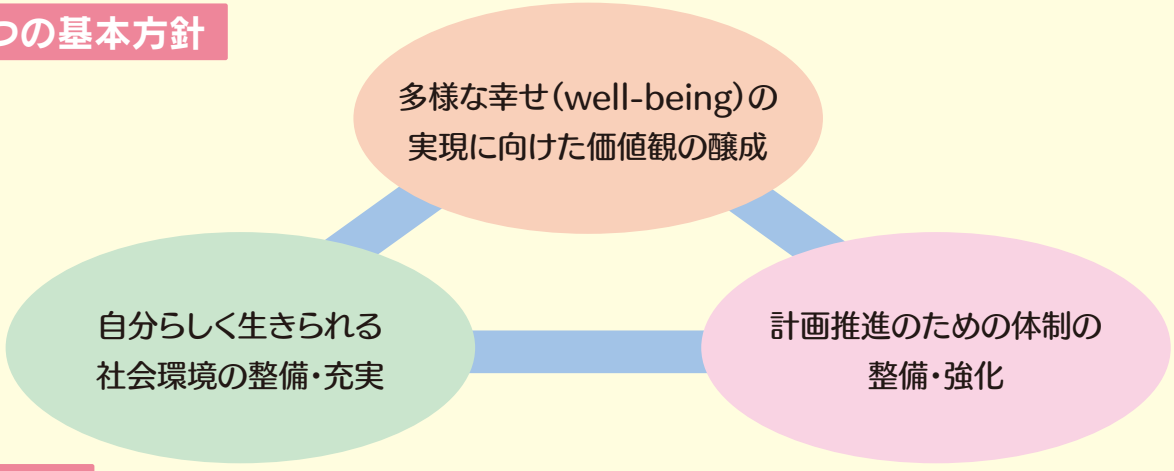
女性を取り巻く人権課題

女性に対する暴力やハラスメント、「男性は外で働き、女性は家庭を守るべき」といった固定的性別役割分担意識、「女性は家事が得意」といったアンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）など、女性を取り巻く人権課題は身近に存在しています。性別をはじめ、様々な違いによって人を決めつけるのではなく、一人ひとりの個性や能力を尊重することは、様々な人権課題に共通する大切な考え方です。

第６次熊本県男女共同参画計画（R8～R12）

「第6次熊本県男女共同参画計画」では、「多様な幸せ（well-being）の実現に向けた価値観の醸成」、「自分らしく生きられる社会環境の整備・充実」、「計画推進のための体制の整備・強化」の3つの基本方針のもと、様々な施策を実施し、男女共同参画の推進に取り組んでいます。

3つの基本方針



事業例

HiGO ROCKa Summit（ヒゴロッカサミット）

男女共同参画社会の実現に向けて活動する個人や団体を表彰するアワードや、フォーラム（パネルディスカッションや講演会）を実施しています。今年も12月5日（土）に県民交流館パレアで、ヒゴロッカサミット2026を実施しますので、ぜひ御参加ください。

KUMAROMO　くまもと女性ロールモデル

多様な分野で活躍する熊本の5名の女性を動画で紹介しています。女性が活躍できる熊本の魅力を知ることができます。



YouTubeチャンネル

めざす熊本の未来

「アンコンシャス・バイアス」は誰もが持っているものですが、自分にもあると自覚することで、偏った考え方を防ぐことができます。慣習や思い込みに縛られず、自分の選んだ道を前向きに進んでいけるよう、誰もが自由に、楽しく、自分らしく能力を発揮できる熊本をめざします。

Uni-Voice

【このページに関するお問い合わせ先】
- 電　話：096－333－2287（男女参画・協働推進課）
- メール：danjyokyoudou@pref.kumamoto.lg.jp

第6次熊本県男女共同参画計画（県HP）

災害時こそ大切にしたい「人権」



誰もが安心して避難できる環境づくりのために

令和８年７月２８日、「令和８年熊本地震」が発生しました。

地震や豪雨、台風などの災害は、私たちの生活に大きな影響を与えます。災害発生時には、誰もが不安やストレスを抱え、人命が危険にさらされます。被災したすべての人々が安心して避難できる環境づくりが求められる中、高齢者や障がいのある方、外国人や乳幼児、妊産婦など、それぞれの特性やニーズに配慮した対応や支援が必要になります。

災害時は不安やストレスから、他者への配慮が疎かになり、通常時より配慮や支援を必要とする人々への人権侵害が起きやすくなります。不安やストレスから余裕がなくなるのは当然のことで仕方がありません。しかし、そのような時こそ、さまざまな人への配慮を忘れないために、日頃から人権意識を磨いておくことが大切です。

災害時に配慮したい人権の例

女性の人権

- 授乳や更衣ができるプライバシー空間の確保
- 炊き出しや掃除など、性別による役割固定をしない

こどもの人権

- 怖い気持ちや困りごとをうまく伝えられない際に、安心して相談できる環境の整備
- 安全に過ごせる学習や遊びの場の確保

高齢者の人権

- 必要な物資や情報を得るための身の回りのサポート
- 避難生活による心身の負担軽減へのサポート

障がい者の人権

- 身体に障がいがある方、見た目では障がいがわからない方など、一人ひとりの状況に応じた支援や環境づくり

外国人の人権

- 言葉の壁による緊急・支援等の情報格差への配慮
- 宗教や文化の違いによる支援物資などへの配慮

性的指向・性自認に関する人権

- 男女共用のユニバーサルトイレ、性自認に応じたシャワー・更衣室などの個別利用の検討

あらためて考えてみよう「災害時の人権」



災害時は、生命、健康、そして尊厳を守ることが最も重要です。一人ひとりの違いを理解し、互いを尊重することが災害時の人権を守ることにつながります。

災害はいつ、だれの身にも起こり得ます。だからこそ、困っている人に声をかけ、多様な立場の人がいることを考えながら行動することが、誰も取り残さない社会への第一歩となります。

災害時の人権についてあらためて考えてみましょう。

Uni-Voice

人権センター新着DVD

No.	人権課題	タイトル
1	人権全般	ハテナを分かち合い、カラフルを分かり合う
2	女性の人権	ドラマ形式で学ぶ　知ってる?デートDV
3	こどもの人権	みんな笑顔になる日まで
4	高齢者の人権	母のさがしもの 認知症とともに生きる
5	部落差別(同和問題)	部落の心を伝えたいシリーズ(35) 私は部落から逃げてきた　西田昌矢
6	インターネットによる人権侵害、部落差別(同和問題)	ネット時代の落とし穴 現代の部落差別から考える
7	インターネットによる人権侵害、部落差別(同和問題)	大切な人
8	ハラスメント	「無自覚」に気付く!～誰もが当事者 職場のハラスメント～
9	性的指向 性自認に関する人権	カミングアウト～落とし穴に陥らないために～ ①カミングアウトする?しない?(生徒向け)
10	性的指向 性自認に関する人権	カミングアウト～落とし穴に陥らないために～ ②児童生徒のカミングアウトに向き合う(教員向け)



貸出専用TEL
096－333－2300

受付時間
月～金　9時～16時
(祝日、年末年始を除く)

ビデオ一覧はこちらから

人権センターHP
(ビデオ一覧)



くまもとハートウィークイベント

○12/3～9は障害者週間です!
○様々なイベントに参加し、障がいについて体験して、感じて、理解しよう!



【主なイベント】
1　くまもと障がい者芸術展(11/25～11/29)
2　メインイベント(障がい体験や福祉事業所の製品販売)(12/5)
3　浦田理恵選手トークショー(12/6)
　※ロンドン２０１２パラリンピック金メダリスト
4　「心の輪を広げる体験作文」、「障害者週間のポスター」の表彰式(12/6)
5　地域でのふれあいイベント(１２会場)(11/1～12/15)

詳しくは県庁HPへGO!

みんなで応援!コッコロマッチ

VOLTERS

11月29日(日)14:05試合開始

プロバスケットボールチーム「熊本ヴォルターズ」と連携した人権啓発活動の一環として、熊本ヴォルターズのホームゲームを開催します。

選手たちはチーム内で文化も言葉も違いますが、国境を超えて、仲間となり、プレーしています。

ヴォルターズをみんなで応援しましょう!



熊本ヴォルターズキャラクターぼるたん



職場や学校での研修に使えます!

熊本県人権啓発 Web講座

いつでも、どこでも、だれでも、なんどでも、無料!



本講座は、本県の研修支援事業の登録講師をはじめ様々な講師による動画をYouTube上で何度でもご視聴いただけるオンライン研修です。個人のみならず、学校や事業所の研修等、複数人での視聴も可能です。　★詳しくは、人権センターHPをご覧ください。





令和８年に、「水俣病をめぐる人権」「ビジネスと人権」を追加しました。

人権センターHP
(Web講座)

申込みフォーム

Uni-Voice

熊本県環境生活部県民生活局人権同和政策課
電　話　096－333－2299　メール jinken@pref.kumamoto.lg.jp

ホームページへのアクセスは　熊本県　人権同和政策課　で　検索

※右の二次元コードを読み取ってもアクセスできます。

発 行 者：熊本県
所　　属：人権同和政策課
発行年度：令和8年度(2026年度)